

カンタータ第11番

Lobet Gott in seinen Reichen
讃めまつれ神をあまたの御国で

1. Chor

Lobet Gott in seinen Reichen,
Preiset ihn in seinen Ehren,
Rühmet ihn in seiner Pracht;
Sucht sein Lob recht zu vergleichen,
Wenn ihr mit gesamten Chören
Ihm ein Lied zu Ehren macht!

2. Rezitativ (Tenor)

„Der Herr Jesus hub seine Hände auf
und segnete seine Jünger,
und es geschah,
da er sie segnete,
schied er von ihnen.“

3. Rezitativ (Baß)

Ach Jesu, ist dein Abschied schon so nah?
Ach, ist denn schon die Stunde da,
da wir dich von uns lassen sollen?
Ach, siehe, wie die heißen Tränen
Von unsern blassen Wangen rollen,
Wie wir uns nach dir sehnen,
wie uns fast aller Trost gebracht.
Ach, weiche doch noch nicht!

4.. Arie (Alt)

Ach, bleibe doch, mein liebstes Leben,
Ach, fliehe nicht so bald von mir!
Dein Abschied und dein frühes Scheiden
Bringt mir das allergrößte Leiden,
Ach, ja so bleibe doch noch hier;
Sonst werd ich ganz von Schmerz umgeben.

5. Rezitativ (Tenor)

„Und ward aufgehoben zusehends
und fuhr auf gen Himmel,
eine Wolke nahm ihn weg vor ihren Augen.“

und er sitzt zur rechten Hand Gottes.

6. Choral

Nun lieget alles unter dir,
Dich selbst nur ausgenommen;
Die Engel müssen für und für
Dir aufzuwarten kommen.
Die Fürsten stehn auch auf der Bahn
Und sind dir willig untertan;
Luft, Wasser, Feuer, Erden
Muß dir zu Dienste werden.

<昇天日オラトリオ> Himmelfahrts-Oratorium

キリスト昇天日(復活祭第1主日後40日目)

聖句 書簡使徒言行録 1,1-11

福音書マルコ 16,14-20

歌詞台本作者不詳

1. 合唱

神を称えよ、世界の国々で、
神を讃美せよ、多くの栄光をもって、
神の誉れよ、華やかに。
神への讃美を正しく行え、
歌う者すべてが
神への栄光に声合わすとき。

2. レチタティーヴォ (テノール)

「主イエスは手を上げて
弟子達を祝福された、
すると、こんなことが起った、
主は彼らを祝福しながら、
彼らから離れていったのだ。」 [ルカ 24,50-51 参照]

3. レチタティーヴォ (バス)

ああイエスよ、あなたとの別れはもうそんなに近いのですか？
ああ、もうその時がすでに来たのですか、
あなたがわれらから去らなければならないその時が？
ああ、ご覧なさい、熱い涙が
われらの青ざめた頬を流れ落ちるさまを、
われらがあなたをどんなにあこがれるのかを、
そして、わたしがほとんど全ての慰めから見放されているさまを。
ああ、どうかまだ消え去らないでください！

4. アリア (アルト)

ああ、どうか留まってください、わたしの愛する命よ、
ああ、そんなにすぐにわたしから離れていかないでください！
あなたとの別れとそんなに早い離別は
わたしにとても大きな苦しみをもたらすのですから。
ああ、どうかまだここに留まってください、
でなければわたしは痛み完全に囲まれてしまいます。

5. レチタティーヴォ (テノール)

「そして(イエスは)みるみる高く昇られ
天へと昇って行かれた。
雲が彼ら(弟子達)の目からイエスを消し去った」
[使徒言行録 1,9]
そして彼は神の右手に座した。

6. コラール

いまやすべてがあなたのもとにある、
あなたご自身を除いては。
天使たちはいついつまでも
あなたに仕えようとしてやって来る。
君主達もまた道に整列し
あなたに喜んで従おうとしている、
空気、水、火、地面(全地)は
必ずやあなたに奉仕するのだ。

7a. Rezitativ (Tenor, Baß)

T: „Und da sie ihm nachsahen gen Himmel fahren,
siehe, da stunden bei ihnen zwei Männer in weißen Kleidern, welche auch sagten:
TB: Ihr Männer von Galiläa,
was stehet ihr und sehet gen Himmel?
Dieser Jesus, welcher von euch ist aufgenommen gen Himmel, wird kommen, wie ihr ihn gesehen habt gen Himmel fahren.“

7b. Rezitativ (Alt)

Ach ja! so komme bald zurück:
Tilg einst mein trauriges Gebärden,
Sonst wird mir jeder Augenblick Verhaßt und Jahren ähnlich werden.

7c. Rezitativ (Tenor)

„Sie aber beteten ihn an,
wandten um gen Jerusalem von dem Berge, der da heißet der Ölberg,
welcher ist nahe bei Jerusalem und liegt einen Sabbater-Weg davon,
und sie kehrten wieder gen Jerusalem mit großer Freude.“

8. Arie (Sopran)

Jesu, deine Gnadenblicke
Kann ich doch beständig sehn.
Deine Liebe bleibt zurück,
Daß ich mich hier in der Zeit
An der künftigen Herrlichkeit
Schon voraus im Geist erquickte,
Wenn wir einst dort vor dir stehn.

9. Choral

Wenn soll es doch geschehen,
Wenn kömmt die liebe Zeit,
Daß ich ihn werde sehen,
In seiner Herrlichkeit?
Du Tag, wenn wirst du sein,
Daß wir den Heiland grüßen,
Daß wir den Heiland küssen?
Komm, stelle dich doch ein!

7a. レチタティーヴォ (テノール、バス)

テ:「そして彼らがイエスが天へと昇っていくのを見送っていた
そのとき、
見よ、彼らのそばには白い衣を着た二人の男が
立っていて、こう言った。
テ、バ:『ガリラヤの男達よ、
なぜに立って天を見上げているのか?
あなたたちの所から天へと昇っていかれたイエスは、
あなたがたが見たように、天へ昇って行かれたのと同じようにし
て、またやってくるのです。』」

[使徒言行録 1,10-11]

7b. レチタティーヴォ (アルト)

ああ！ それではまたここに帰ってこられるのですね、
ならば消し去ってください今までのわたしの悲しげな振舞を、
さもなければわたしは生きている一瞬一瞬を
嫌な、長すぎる歳月と感じてしまいます。

7c. レチタティーヴォ (テノール)

「彼ら(弟子達)は主をあがめ、
オリーブ山と呼ばれているその山から
エルサレムの方へ向かって行った。
その山はエルサレムにほど近く、
安息日にでも行けるところにあつたので、
彼らは大いに喜んで
エルサレムに帰ってきたのだった。」

[使徒言行録 1,12 参照]

8. アリア (ソプラノ)

イエスよ、わたしはあなたの恵のまなざしを
いつも見ることができるようになったのですね。
あなたの愛は今この時
わたしのもとへ戻りました、
来るべき栄光は
すぐにもわたしの心を元気づけてくれます、
われらがいつかかの地であなたの前に立つその時に。

9. コラール

それはいつ起ってくれるのだろうか、
あの愛しい時はいつ来るのだろうか？
それはわたしがあの方に栄光の中で、
お会い出来るとき。
その日よ、お前はいつ来るのだ？
われらが救い主に挨拶するその日、
われらが救い主に口づけするその日は、
来てください、現れてください、その日よ！

[ゴットフリート・ヴィルヘルム・ザーツル作詞のコラール
「神は天へと昇り給う」

Gott fährt auf gen Himmel(1697)第7節]